

安全作業手順書【防草目地テープ工】

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具 ・車両	手動スーパー、ハサミ、ゴムハンマー、は け、コンパクトプレート、ブロワー	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、 皮手袋

		見積もり基準をした危険性の評価			
		重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)	
	△ たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)	
	× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)	

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (留意を要)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ)			リスクの再見積り		
			(～なので～になる)			(A)	(B)	リスク	(私達はこうする)			(A)	(B)	リスク
準備工	作業確認	作業員の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する ケーブル近接協議の内容を確認する 使用機械、工具等の点検を行う しらすんたーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 埋設箇所への振動など 作業前に 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / / / 協議承認日以前に作業を行ってしまう 作業中に機械が故障し、思わぬケガをする 電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△ ○ / / △ △ △	× × / / × × ×	4 3 / / 4 4 4	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する / / 作業日と協議日を照らし、確認を行う 作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う 毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○ ○ / / ○ ○ ○	○ △ / / ○ ○ ○	1 2 / / 1 1 1			
	車両確認	<div style="text-align: center;">  <p>セーフティーバイブル</p> </div>										25.車両回送手順書に則る		
	作業車両準備													
	作業車両点検													
	出発準備													
出発														
本作業	規制内進入	<div style="text-align: center;">  <p>セーフティーバイブル</p> </div>										25.車両回送手順書に則る		
	車両移動													
	停止													
	逸走防止													
	使用機器等											車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指が挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする
作業前準備	作業箇所の草抜き、ゴミの処理、清掃を行う	手鎌など刈り取り、伐根を行う 手動スーパー、ブロワー等で清掃する	草で手が滑り鎌で手を切る 埃ごみが飛散して一般車両に衝突する	△ △	△ △	3 3	決まった手袋を必ず使用する 車道側清掃時は養生もしくは誘導員の指示行う	○ ○	○ ○	1 1				
プライマー塗布	清掃後の作業箇所にプライマーを塗布する	①テープ幅を確認して塗りにすぎに注意する ②塗漏れがないようにする ③周辺の養生をしっかりと考える	塗布面にごみなどが付き接着不良の因になる 接着不良が発生する 周辺の美観が損なわれる	△ △ △	△ △ △	3 3 3	養生材はその都度まとめて袋に入れるなど、養生を行う 大きな面を一度に塗布せず、少しずつ確実に塗布する 塗布しすぎないように確認しつつ作業する	○ ○ ○	○ ○ ○	1 1 1				
テープ設置	プライマー塗布面にテープを圧着させる	①テープ裏面紙をとって確実にプライマー塗布面に密着させる ②密着部、接着継ぎ目をゴムハンマーで圧着させ、コンパクトプレートで全体を圧着させる	1人作業をするとテープ同士が接着して材料不良となる 密着に不備が出るとテープ剥がれの原因となる	△ △	△ △	3 3	貼り付け、裏面紙のはがし、テープ持ちの3人体制で行う ゴムハンマー、プレートで目視で確認しながら順序よく行う	○ ○	○ ○	1 1				
清掃片付け	場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	掃き掃除やブロワー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する 規制解放後忘れた道具に一般車が接触する	△ △	△ △	3 4	職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながら清掃する 作業終了後全員で確認し、最後に責任者が確認する	○ ○	○ ○	1 1				
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
特記	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。												
	パワーゲートを使用した荷台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、サイドカバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1			
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1			